

下田地区住民説明会 新学部設置構想事前質問への回答

1 事前質問の概要

質問内容	防災関連、大学運営、地域・社会貢献、大学誘致の推進、その他
質問提出者	6人（8件）
受付件数 （その他）	49件 意見提出者 1人

2 主な質問内容と回答（重複する内容もあり、受付件数とは異なります）

No	項目	質問の内容(要旨)	回答
1	防災関連	南海トラフ巨大地震や津波災害時における、大学施設の指定避難所の設置や運営についてはどのように考えていますか。発災後しばらくして大学が授業再開をした後、避難者はどのようにになりますか。	<p>< 四万十市 ></p> <p>指定避難所とは、自らの居住の場所を確保することが困難な被災した住民を滞在させるための場所で、市が指定・開設します。</p> <p>市の小中学校では12校を指定避難所として指定していますが、期間については何日間といった定めは無く、災害の状況や開設する学校の状況などにより変わってきます。また、開設後も道路の啓開具合や仮設住宅の建設、避難者の帰宅など、時間の経過とともに状況も変わっていきますので、授業再開など関係機関と調整しながら、避難所の縮小なども検討していくこととなります。</p> <p>ただ基本的な考えとして、避難者が次に移る居住地が無いような状況で強引に避難所を閉鎖するといったことはあり得ません。それは、施設が民間施設であっても同様だと考えております。</p> <p>< 学校法人 ></p> <p>南海トラフ地震などの大規模災害が発生した際の避難所としての指定・開設は、市が行うものと理解しておりますし、大学としても人命が最優先と考えていますので、避難所運営に協力できることは、市や地区と連携しながらしていきたいと考えています。</p> <p>また、開設期間においては、大学の授業が再開したからと言って避難者を強引に押し出</p>

			し、避難所を閉所するということはありません。発災後、一定時間が経過すれば、交通、電気、水道などのインフラ状況は徐々に回復するものと考えていますので、その状況に応じ、市・地区と協議しながら避難所の縮小などについて協議していきたいと考えています。
2	防災関連	地域防災力向上への取組や地域住民との交流推進策はありますか。	<p>< 四万十市 ></p> <p>大学施設につきましては、下田中学校の時と同様に指定緊急避難場所、指定避難所として指定します。</p> <p>避難所の指定（開設）や運営につきましては、地域、市、大学での三者協定において必要な事項を定めることとし、現在締結に向けた準備を進めています。また避難所として施設の使用だけでなく、看護職を目指す学生やその教職員も多数在籍することになることから、医療面における人材、物資両面での積極的なサポートもご協力いただけると考えています。</p> <p>< 学校法人 ></p> <p>中医学研究所や下田中学校校舎・体育館の改修、新築棟を建築することから、発災時における避難所機能は向上すると考えています。また、実習棟(旧中医学研究所)はベッドや実際の病院施設の環境を模した施設となっていますので、高齢者の方や負傷した方などが利用できるものと考えていますし、看護大学の教員や学生による専門性を活かした人的支援は可能です。</p> <p>また、地域や消防署と連携した防災訓練をすることで地域防災力向上や交流に繋がると考えています。</p>
3	防災関連	大学施設となっても、避難所はこれまで同様の機能を維持することはできますか。	<p>< 四万十市 ></p> <p>法人に施設を貸与することで、機能が落ちることがないように、地元区長・自主防災会などで構成されている検討委員会（下田地区南部地域避難所検討委員会）により協議を進めています。</p> <p>その中で、地域、市、大学で避難所の施設利用に関する三者協定締結に向けての協議も続けています。</p> <p>また、大学に貸与することで、体育館の機能が変更するため、備蓄倉庫や避難スペースなどを備えた新たな施設（防災コミュニティセンター）の整備も進めています。</p>

4	防災関連	大学施設は指定避難所と併せて、福祉避難所の指定は可能ですか。	<p>< 四万十市 ></p> <p>福祉避難所の要件を満たせば指定することは可能ではありますが、大学施設の中には福祉避難所的機能（実習用機材やベッド等の設備、看護師を目指す学生の在籍など）を有する施設もありますので、指定避難所に指定する施設を、福祉避難所に指定するのではなく、避難者のうち要配慮者はその施設を優先的に使用してもらうなど、柔軟な避難所運営で対応できると考えます。</p>
5	大学運営	学生募集の定員割れがあった場合は、繰り上げ入学や推薦制度はありますか。	<p>< 学校法人 ></p> <p>学校推薦型入学選考や補欠合格等の制度があり、入学辞退で定員未充足の際は補欠合格者を繰り上げることとなります。</p> <p>また、地元高校等には指定校推薦という入試区分を設けることを考えています。</p>
6	大学運営	学生の確保や運営が継続出来る見通しを教えてください。	<p>< 学校法人 ></p> <p>日本私立学校振興・共済事業団が行った調査では、令和3年の看護学部志願率は5.51倍、入学定員充足率も102.72%と高水準を保っています。</p> <p>令和3年8月に高校2年生（現3年生）を対象に行ったニーズ調査では、「受験したい」と回答した学生が252名と定員の3倍以上の学生から受験希望回答が得られていますし、これまで京都看護大学では開学以降、定員割れをしていない実績もあります。</p> <p>また、系列法人 学校法人育英館が経営しています四万十看護学院でも定員を満たしている実績から、定員確保及び運営の継続も出来ると判断しています。</p>
7	大学運営	他大学と違う魅力・特色ある教育内容やPR方法は何かですか。	<p>< 学校法人 ></p> <p>「専門性と看護固有の価値を獲得する4年間の新カリキュラム」と「看護学の総合理解と看護職者としての自立といった看護師のエキスパート教育」を行い、地域包括ケアシステムを推進する力の育成を行います。</p> <p>また、(仮称)四万十看護学部 実習棟では各領域の実習スペースを広く確保し、病院現場を想定したナースステーションを設けるなど、病院環境に近い設備で学ぶことができます。</p>
8	大学運営	バス交通については、運行ダイヤとルート検討されていますか。また、最寄りバス停の予定やごみ箱の設置は検討されていますか。	<p>< 学校法人 ></p> <p>バス交通については、バス通学する学生も多いと予測されるため、高知西南交通株式会社と学生及び地域の皆様の生活に不便・不都合にならないよう時刻の調整や増便等の協議をする予定です。</p>

			バス停のごみ箱については設置予定はありません。ただし、ごみは生徒にしっかり持って帰るよう生活指導の中で徹底したいと考えています。
9	大学運営	現在の駐車場では足りないと思いますが、他の駐車場の確保予定はありますか。空き地の駐車や路上駐車が増えないか心配しています。	<p>< 学校法人 ></p> <p>大学の施設整備の中で、旧下田中学校校庭に 120 台程度の駐車場を整備する予定です。</p> <p>また、学生は自家用車の通学だけではなく、原動機付自転車、バイク、自転車、バス等での通学も想定していますが、実際にどの程度の割合で通学があるか想定がしにくいところです。学生の通学については、事故防止、交通安全教育として地元警察署等と連携しオリエンテーションなどで防犯や交通に関する説明を行う予定です。</p> <p>駐車場の不足については、段階的に学生が入学する中で対応していきたいと考えていますが、地域の皆さまにご迷惑はかけないように、路上駐車などの倫理的な問題は生活指導の中でしっかり対応していきたいと考えています。</p>
10	大学運営	学生の生活環境（住居、学内の食堂、コンビニなど）は整いますか。	<p>< 学校法人 ></p> <p>学生の入学定員は 80 名で、4 年後には教職員含め約 400 名が在籍する想定ですが、学生寮の建築は考えておりません。学生の住居については、四万十市内の民間アパートへの居住を考えており、物件の情報提供はさせていただく予定です。</p> <p>食堂は、開学 2 年目（令和 6 年 4 月）には整備する予定です。</p> <p>コンビニの設置の考えはありませんが、校舎内に食品、飲料品も含めた売店の設置を検討しています。</p>
11	大学運営	修繕などの維持管理費用についてはどのようになっていますか。また、エレベーターや監視カメラの設置予定はありますか。	<p>< 学校法人 ></p> <p>毎年の維持修繕管理費については、学校法人の負担となります。</p> <p>大学施設には施設や学生の安全管理に必要な備品を設置する予定であり、防犯上の観点から監視カメラは設置します。なお、現段階でエレベーターの設置は予定しておりません。</p>
12	地域・社会貢献	看護職をリタイヤした人達の学びなおしや、現職希望者への学びや技術向上等の講座はありますか。	<p>< 学校法人 ></p> <p>看護師のリカレント教育では、京都看護大学でも実施しています「新人看護職員教育プログラム、看護職能力向上・定着確保研修プログラム・看護の基本を学びなおすプログラム」など実技研修の開催として予定しており、更に地域のニーズや課題に合わせた教育プログラムを構築したいと考えています。</p>
13	地域・社会貢献	旧中医学研究所を利用して、地域とのコミュニティ	< 学校法人 >

		の維持や再生はどのように行いますか。	看護師へのリカレント教育の場や大学と地域の合同避難訓練、地域と連携した学園祭などの実施を考えています。
14	地域・社会貢献	大学や学生は地域にどのように関わってもらえますか。(例：地域行事や災害時対応など)	<p>< 学校法人 ></p> <p>現在地区の方と指定避難所のことについても協議しており、災害時の対応は看護大学としての専門性を活かし協力したいと考えておりますし、これまで下田地区で行っていた防災訓練は合同で開催したいと考えています。</p> <p>地域の行事や清掃などのボランティア活動でも大学の地域貢献活動の中でできるだけ関わっていきたいと思います。現在、京都看護大学においても、週1回、大学周辺の清掃ボランティア活動を実施していますので、そういった活動も含め学生の地域の美化意識を高めていきたいと考えています。</p>
15	地域・社会貢献	地域住民は大学の発展にどのように関わり、協力ができますか。(例：学びのフィールドの提供、生活支援、ボランティア、パート職員など)	<p>< 学校法人 ></p> <p>地域の行事や清掃などのボランティア活動の機会を提供いただければ学生への周知を行うことができます。</p> <p>また、地域の皆様には、大学と地域の合同避難訓練、地域と連携した学園祭など、さまざまな形で大学への関わりをお願いしたいと考えています。</p>
16	大学誘致の推進	地元への看護大学誘致の効果への理解が不十分だと感じていますが、今後の広報の取り組みはどのようにしますか。	<p>< 四万十市 ></p> <p>説明会当日に配布しました「京都看護大学四万十看護学部誘致に向けて」と題したチラシを四万十市内全戸に配布するなどしておりますが、今後も、市広報誌、ホームページ等で周知していくとともに、各種会議や会合に参加させていただき説明を行う予定です。</p>
17	大学誘致の推進	旧下田中学校が大学施設となることで、現在旧下田中学校体育館で運営している放課後児童クラブはどうなりますか。また、大学と放課後児童クラブの関わりはどのように考えていますか。	<p>< 四万十市 ></p> <p>旧下田中学校が大学施設となることで、現在利用している旧下田中学校体育館は放課後児童クラブの運営場所としては利用できなくなりますが、令和4年度に建築予定の防災コミュニティセンターを放課後児童クラブに新たに利用いただくことで調整しています。</p> <p>< 学校法人 ></p> <p>大学として多目的ホール棟(旧下田中学校体育館)を利用していない時は放課後児童クラブの児童の活動に利用いただいて構いませんし、今後学生と児童との交流といったことも期待しているところです。</p>
18	大学誘致の推進	大学誘致に伴う全体事業費(見込み)、内訳はどのよ	< 四万十市 >

		うになっていますか。	<p>大学の新学部設置に伴う総事業費は、令和4年度当初において、約17.4億円を見込んでおります。</p> <p>内訳としては、国からの補助金が、約5.4億円、市の負担が約10億円で、学校法人は、備品購入費として約2億円を見込んでおります。</p> <p>当初から市の負担は10億円以内ということで進めておりましたので、運営費については、見込んでいません。また、市の負担については、ふるさと応援寄附金を活用することとしています。</p>
19	大学誘致の推進	市が負担する約10億円に、ふるさと応援寄附金を活用すると説明していますが、詳しく教えてください。	<p>< 四万十市 ></p> <p>四万十市ふるさと応援寄附金の使い道につきましては、市の施策の財源として幅広く寄附を集り、柔軟に活用できるよう「ふるさとの環境と景観を守る事業」「ふるさとの人(高齢者、子どもなど)を守り育む事業」「ふるさとの産業を守り育む事業」「ふるさとのイベントを守り育む事業」「ふるさとを災害から守る事業」「その他市長が必要と認める事業」の6つの使途事業を設け、寄附者がこの中から希望する使い道を選択することとなっており、寄附者が選択した使途事業に関連する市の施策に寄附金を活用することとしております。</p> <p>大学誘致の取り組みについては、「ふるさとの人(高齢者、子どもなど)を守り育む事業」「その他市長が必要と認める事業」から活用させていただく予定としています。</p>
20	大学誘致の推進	大学を誘致することで、経済波及効果はどの程度見込んでいますか。	<p>< 四万十市 ></p> <p>大学誘致における経済波及効果ですが、令和3年3月に作成された、平成27年高知県産業連関表を用いて県内への経済波及効果分析を行うための分析ツールである「高知県経済波及効果簡易分析ツール」を用いて推計を行っております。</p> <p>分析に必要なデータである需要額は、平成22年度文部科学省事業(先導的・大学の教育改革推進委託事業「大学の教育研究が地域に与える経済効果等に関する調査研究」)による(株式会社日本経済研究所の)報告書(平成23年3月)を用いて需要額を把握しました。</p> <p>四万十看護学部は、入学定員80人で、教員30人、職員13人の段階的雇用を予定しています。</p> <p>学生320人、教職員約40人がそろそろ令和8年度における需要額は、「大学の教育・研究活動に伴う消費」、「教職員の消費」、「学生の消費」、「来訪者による消費」の6.09億円、これに伴う波及効果は6.67億円となっております。</p>

21	大学誘致の推進	四万十市や近隣市町村は、県の看護師等養成奨学金貸付金制度と同等の奨学金制度などがありますか。	<p>< 四万十市 ></p> <p>各市町村独自の奨学金制度はありますが、県の看護師等養成奨学金制度と同等の制度は現在のところありません。</p>
22	大学誘致の推進	高知県や近隣の市町村との連携協力体制はどのようになっていますか。	<p>< 四万十市 ></p> <p>幡多6市町村は、幡多地域定住自立圏を形成しています。令和2年10月9日、定住自立圏の形成に関する協定に「看護系4年制大学の誘致」を加え、幡多地域が連携して看護系4年制看護大学誘致に取り組むこととしており、紹介や情報など発信していく予定です。</p>
23	その他	文科省への事前相談や、今後の認可申請などについての進捗状況を教えてください。	<p>< 学校法人 ></p> <p>文部科学省に4月19日に事前相談は提出しております。引き続き、6月に学部設置届出、及び学則変更の認可申請、7月に看護師学校指定申請を行うものとしています。</p> <p>なお、学則変更の認可通知は8月に許可書が交付される予定です。</p>
24	その他	理事長が新学部を設置して10年後以降は、少子化の影響もあり、中国からの学生の入学(留学)も視野に入れるといった主旨の発言がありましたが、中国共産党の影響についての懸念はないでしょうか。	<p>< 学校法人 ></p> <p>全国の大学を見ても海外の多くの国から学生が留学しています。</p> <p>京都看護大学も将来的に中国からの留学生を募集することも考えられますが、留学生に関しては中国に限った話ではありません。</p> <p>また、基本的に日本へ留学したい海外の学生は、日本という国に好意的だからこそその留学ですので、中国共産党の影響といった懸念は必要ないと考えています。</p>